

10月19日
取次納品予定

『古本屋 タンポポのあけくれ』 片岡千歳 著

南国の小さな古書店の日々を綴った随筆集を約 20 年ぶりに復刊。

詩を愛する夫婦が 1963、高知に小さな古書店を開きました。「タンポポ書店」です。店には詩集も並んでいましたが、それ以上に雑本が並び、入り口には 50 円均一の棚もありました。生まれてきた 3 人の子どもを養うため、夫は長距離トラックに乗り、妻は店舗だけでなく、催事場やスーパーでも古本を売ります。夫が病死した後も、妻の片岡千歳さんは 2004 年まで、ひとりで「タンポポ書店」を続けました。

本書は 2004 年に片岡千歳さんが自費出版した随筆集の復刊です。古本好きには知られていた本ですが、発行部数が少なく、長いあいだ入手困難の一冊でした。片岡さんの文章は生活に根ざした文章であり、あたたかみがあって、読む者の心を解きほぐします。本書は現在ではなかなか見られない「貼り箱」をつかった、贅沢な仕様です。一度といわず、何度でも読み返していただけたらうれしいです。

価格：2600+税/320頁

四六判変形/函入/仮フランス装 ISBN 978-4-904816-45-5

取次：JRC（すべての取次からの搬入が可能です）

ご注文は JRCへ FAX：03-3294-2177 電話：03-5283-2230

発行 夏葉社 TEL/FAX 0422-20-0480 東京都武蔵野市吉祥寺北町 1-5-10-106



発行 夏葉社

古本屋
タンポポのあけくれ

片岡千歳 著

本体2600円+税

ご担当者様

冊

取り扱い書店名